

# 平成18年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

地域の様々な方に、ご利用いただく施設として、安心して、安全にご利用いただけるよう空調設備、消防設備、エレベーター等の点検を定期的に行いました。また、気持ちよく、ご利用していただけるよう衛生面や備品の管理も徹底するようにしました。

- ◇ 調理室の食器類の管理を工夫し、月1回食器消毒の徹底を定期化しました。
- ◇ ノロウィルスの予防を徹底し、11月から2月は館内の消毒に努めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

法人本部と連携し、業務の役割分担を図りながら、事務の効率化に努めました。特に、委託業者選定にあたっては法人本部での電子入札を活用し、経費削減を図りました。

なお、法人において、複数の地域ケアプラザの管理運営を行っているメリットを生かし、各地域ケアプラザの情報を共有することにより、効率化を図りました。

#### ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。

また、法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けて、毎月のサービス向上委員会の実施等により、取り組みを行いました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定し、また年2回の防災訓練を通して、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう災害時の備えを行いました。

特に、防災訓練のうち1回は、複合施設であるため、戸部ハマノ愛生園と合同で実施しました。さらに、防災の地域連携をすすめ、地元自治会と西消防署長立会いにより、消防応援協定の締結を行いました。

#### オ 事故防止への取組について

通所介護等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングやスタッフ会議において、注意を喚起し、事故の未然防止に努めました。また、リスクマネジメントの理解について、研修の実施や職員で検討し、実践的マニュアル作成に取り組みました。

ケアプラザ内においては、設備（空調・消防・エレベーター）点検・清掃・備品の管理を徹底し、ご利用いただく方の安全に努めました。特に、エレベーター・ガス器具の事故が社会的に目立ちましたので、さらに安全性強化のため、平成19年度は点検保守契約の内容を見直し、整備しました。

#### カ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示請求のあった場合への対応に努めました。

また、ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供することを心掛けました。

#### キ 環境等への配慮及び取組について

日常からゴミの分別・コピー用紙の裏面使用等、無駄が無いよう、横浜G30プラン（平成22年度のごみ排出量を平成13年度に対して30%減らす目標）の推進に努めるとともに、資源循環局西事務所職員の方を講師として迎え、さらに理解を深めるための研修を実施しました。また、節電・節水を心がけ、省エネルギー対策にも取り組みました。公共の施設として、地域に向けて横浜G30プランやクールビズ・ウォームビズの理解にも努めました。

また、植栽については、地域の障害者地域作業所の方の仕事の場として、水まきや整備を依頼し、管理を行いました。

## (2) 職員配置・育成について

### ア 職員体制について

事業ごとに専門に応じて、一定の資格が必要であるため、資格要件及び人員配置基準に従い、職員を配置しました。

また、担当事業に限らず、地域ケアプラザの職員として、多様な問合せに対応できるよう、情報の共有化と知識・技術の向上を目指した職員の育成に努めた研修や会議を実施しました。

### イ 職員の研修計画について

専門集団であることを自覚し、サービスの向上と専門性の向上を目指した研修に取り組みました。

- ①年間研修計画を立て、職種・階層ごとに計画的に実施しました。
- ②外部研修も、活用し、自己の研鑽に努めます。特に、全国規模の研修にも参加し、情報・視野を広く持てるよう努めました。

特に、今年度は介護保険制度改正への対応として、介護予防実践の技術習得とチームアプローチの技術向上を重点に取り組みました。

### ウ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を設置し、また、法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティー研修に職員を受講させ、啓発に努めました。

実際の個人情報の取り扱いとしては、契約書・記録等の書類やフロッピーディスク等については、施錠可能な保管庫で保管をすることとし、また、パソコン等のデータ管理については、システムセキュリティーやパスワード使用等を徹底しました。

携帯がどうしても必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしました。

特に、社会的に個人情報漏えいが多発している状況への防止対策として、下記の工夫を行いました。

- ①FAX誤送信注意のため、FAX送信時は、2人対応をし、FAX番号を指差し確認の上、送信しています。
- ②デイサービスのお客様記録書については、デイスタッフ・看護師・生活相談員で3段階チェックをしてお返ししています。
- ③手渡しや郵送物は、日付・場所・対応者がわかるようにチェックしています。貴重な個人情報を取り扱っていることを認識し、管理の徹底に努めました。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

地域支援事業や新たな自主事業の立ち上げに際し、区役所の関係部署との連携や関係づくりを図り、西区内の地域ケアプラザごとの職種別会議や地域包括支援センター連絡会などを活用して、区内ケアプラザの連携も進めていきました。

#### イ 地域団体との連携について

今年度は、特に「地域包括支援センター」のしくみについて地域の方々に正しく理解をしていただくためにも、顔が見える関係を目指しました。

介護予防説明 … 高齢独居者の食事会，地区社会福祉協議会の講師  
異世代交流・食育 … 旧支えあい連絡会からの有志との共催  
地区社会福祉協議会 … 総会への出席，社協主催研修出席等

### ● 地域活動・交流事業

#### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 平成18年6月15日(木) 10:00～11:15  
第1号議案 平成17年度事業報告について  
第2号議案 平成18年度事業計画について  
第3号議案 ケアプラザまつりについて  
第2回 平成18年12月7日(木) 10:30～11:30  
第1号議案 平成18年度上半期事業報告について  
報告 1 第4回ケアプラザまつりについて 開催報告  
2 新規事業について  
(1)みなとみらい体操教室  
(2)わたぼうし(若年期認知症ミニデイサービス)

#### エ ボランティア育成について

自主事業や通所介護サービスの中で、多くのボランティアの方々の貴重なマンパワーを得て実施しました。12月から実施した自主事業(若年性認知症のミニデイサービス)の担い手としてボランティア講座を実施し、ボランティアの育成を図りました。また、登録しているボランティア同士の交流やネットワーク化の実現に向けて、ボランティア交流会を実施しました。

#### オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

当ケアプラザの立地として、京浜急行線戸部駅から徒歩2分・相鉄線平沼橋駅から徒歩7分と駅から近いこと、また、当ケアプラザは平地であることから利用希望が多く、特に、多目的ホールの午前・午後1の枠は抽選を行いました。

- ・多目的ホールは、午前・午後1に関して、8割以上の稼働率となる希望がありました。全体平均としては、6割弱の稼働率となりました。
- ・ボランティアルーム、地域ケアルームについては、会議等での利用等を進め、さらに、活用していただけるよう努めてまいります。

#### カ 地域活動・交流部門における自主事業の事業展開について

(1)対象を高齢者だけにとどまらない施設としてアピールすることを考え、特に、異世代交流を目的にした事業の実施を旧ささえあい連絡会の取り組みの継続とケアプラザの特別企画をリンクさせ、地域の担い手の方とも一緒に事業の実施をしました。また、例年通りケアプラザのお祭りについても地域の協力を得ながら開催しました。  
(2)地域性として、マンションが多い地域でもあり、乳児を抱えたお母様方が多いことが特徴です。子育て事業の取り組みについて、力を入れました。

### ● 地域包括支援センター事業

#### キ 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ①相談事業における訪問時、事業の実施時、地域の食事会・会議やおまつり、事業所への挨拶回り等々、地域包括支援センターの3職種について、地域との関係作りを行ないながら、わかりやすい説明に努めました。
- ②出張相談を行い、地域包括支援センターの説明や活用をご案内しました。
- ③地域包括支援センターのPRとして、広報紙：F U Z Z通信の発行やチラシ作成を行い、各種自主事業や運営協議会、地域の諸会議、区内の居宅介護支援事業所等に配付し、ご案内をしました。
- ④地域には、積極的に出かけるよう努め、また、地域活動交流事業担当者とも連携をとりながら、現在ある地域とのパイプを最大限に活用するようにし、事業を行いました。

#### ク 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ①地域支援事業（転倒骨折予防教室と口腔ケア・栄養改善教室）の実施に対して、担当者をバックアップしていくことで、地域包括支援センターの職員が介護予防の知識を深め、地域支援事業対象者の把握にも繋がりました。
- ②これまで把握していた地域ニーズの実現として、自主事業：若年性認知症の方を対象としたミニデイサービス（わたぼうし）やみなとみらい地区での体操教室の立ち上げをしました。
- ③包括的・継続的ケアマネジメントの計画として、医療連携等のネットワークづくりについて、区役所の医師会との調整により、継続して、取り組む課題となりました。
- ④各地区社会福祉協議会との連携に努め、総会・研修会等に参加し、協働で地域づくりに取り組みました。
- ⑤西区まちづくりサロンや西区主催の地区別担当者会議への出席により、西区や地区の情報・課題の把握に努め、解決に取り組みました。

## ケ 介護予防ケアマネジメント事業

### □ 介護予防ケアマネジメントの実施目標について

高齢者自らが、日常生活の中で自立の意識を持てるようお客様の立場に立って一緒にプラン検討をし、実現可能なプラン作成に取り組みました。また、介護予防の重要性を認識し、ケアマネジメントの技術向上に努めました。

- ①携わる職員全員が正しく自立支援について理解し、適切なプラン作成に努めました。
- ②対象となった方の意欲向上につながる援助ができるように、コミュニケーション技術の技術向上に努めました。
- ③高齢者の方に安定した介護予防ケアマネジメント対応ができるよう、体制づくりに努めました。

### □ 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について (高齢者の食事会等、民生委員との連絡会など)

- 西区福祉保健センターや民生委員との連携をより強化すること意識して取り組みました。
- これまで把握している相談事業の対象者や自主事業の参加者に個別チェックシートをすすめ、実施しました。

### □ 平成18年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について

- 地域ケアプラザの広報紙に介護予防の取組状況を掲載しました。また、地域包括支援センターの広報紙として、F U Z Z通信を創刊しました。
- 自主事業の中で積極的にチェックシートを実施し、特定高齢者候補者の情報を区と共有しました。
- 地域のイベントである地域のおまつり・高齢独居者の食事会・地区社会福祉協議会の研修講師等に参加し、介護予防について、理解の促進に努めました。

## コ 総合相談・支援事業

- ①民生委員や福祉保健活動団体関係者との顔の見える関係づくりを心掛け、協力が得られるような働きかけに努めました。
- ②潜在的なニーズ発掘と実態把握のため、集合住宅を中心に出張相談やみなとみらい地区の体操教室をきっかけとした相談を実施しました。
- ③西区で行われている「ケアプラザ会議」・「地区別担当者会議」及び西区との月2回の定例カンファレンスを活用し、縦割り意識を払拭し、ケアプラザならではの相談支援事業に努めました。

サ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

□ 早期発見・虐待防止に向けての工夫等  
（ネットワーク構築、認知症高齢者世帯への支援、介護者支援など）

- ①西区が主催する「処遇困難事例検討会」に積極的に参加し、事例やケース別の処遇方法の共有を行いました。
- ②地域のネットワークづくりとして、個別ケース中心に民生委員等とのカンファレンスを行ないながら取り組みました。
- ③権利擁護の啓発講座を西区内地域包括支援センター・あんしんセンター共催で実施し、権利擁護についての理解を深めながら、事業に取り組みました。

シ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ①特に、地域のケアマネジャーのネットワークづくりや質の向上を目指し、西区ケアマネ研究会の役員会・定例会等に積極的に出席し、地域のケアマネジャーの情報把握を行いながら、具体的な助言や支援を心がけ対応しました。窓口の役割であることを意識し、努めました。
- ②毎月、ケアプラザ独自の勉強会を開催し、地域のケアマネジャーの情報交換の場や自己研鑽の機会を提供しつつ、地域包括支援センターの役割について、説明し、双方の共通認識作りに努めました。
- ③地区の民生委員・児童委員と顔の見える関係をつくるために、個別ケースでの連携や西区が実施した民生委員対象の事例検討会を中心に、ネットワーク構築について、お互いの理解を深めるよう努めました。
- ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務年間計画については、西区内4ケアプラザ合同で、半期ごとに評価・計画の見直しを行い、実施しました。

ス 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
専任	非常勤職員	介護支援専門員	1名
		事務	1名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の自立に向けた目標志向型プラン策定を心がけ、サービスの導入に当たっては明確な目標設定を行いながら、当該サービス提供期間毎に評価を行いました。要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、自ら適切なサービスの企画に努めました。

特に、独居の方に対しての見守り体制は、介護保険制度以外にも配慮しました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

●担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）をいただきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○来年度に向けて、要支援者・特定高齢者を対象とした介護予防コーラスの事業を企画し、準備を行いました。

○地域包括支援センター3職種が常に共通認識を持てるよう、所内で定期的に会議を行い、個別ケースの共通把握や理解に努めました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3	11	24	27	32	36
10月	11月	12月	1月	2月	3月
43	54	59	66	76	88



● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）、健康状態の確認送迎、食事、入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行ないました。
- ・サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するように十分配慮しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（経過的要介護）	6 4 5 円
（要介護1）	7 1 8 円
（要介護2）	8 3 7 円
（要介護3）	9 5 5 円
（要介護4）	1, 0 7 4 円
（要介護5）	1, 1 9 3 円
- 加算
 

入浴加算	5 3 円
個別機能訓練加算	2 9 円
口腔機能向上加算	1 0 6 円
- 食費負担 6 5 0 円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00～16:15

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	4名
看護職員	6名
介護職員	15名
機能訓練指導員	6名
調理員	6名
ドライバー	2名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決め、ご利用者に合った計画を立て、サービス提供を行ないました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- お客様お一人お一人への個別対応の取組み
  - ・自立支援を念頭に置き、お客様1人1人に沿った援助を行います。
  - ・個別機能訓練計画書を基に、機能訓練指導員が機能訓練を実施いたします。
  - ・食事前に行う嚥下体操、食後に行う看護師による菌みがき指導等口腔ケアに力を

入れ、口腔内の健康に努めています。

- ・書道・折り紙・手芸など、個別に楽しむ事が出来るレクリエーションプログラムも用意しております。
- ・ホットプレートを使用した調理訓練レクリエーション、シルバー体操指導員によるリハビリ体操など、レクリエーションプログラムの中にも機能訓練の要素を盛り込んでいます。

●入浴

- ・ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分に入浴を楽しんでいただけます。

●お食事

- ・栄養士と厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、食事・おやつ共に手作りで、ご提供しております。また、昼食時にコック服に身を包んだ厨房スタッフが、当日のメニューの栄養効果のご説明を行います。

●スタッフ教育

- ・『報告・連絡・相談』を常に意識し、業務にあたります。
- ・スタッフ1人1人が指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、技術向上のための研修等を実施いたします。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるよう、努めます。
- ・地域の方（民生委員など）に、デイサービスを知っていただけるよう、地域に赴きPR等に取り組みます。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
560	602	632	637	694	680
10月	11月	12月	1月	2月	3月
620	665	606	606	618	691

## ● 介護予防通所介護

### 《提供したサービス内容》

● 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）、健康状態の確認送迎、食事、入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、運動器機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。

・ 介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行ないました。

・ サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するよう十分に配慮しました。

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分	
（要支援1）	2, 360円
（要支援2）	4, 615円
● 加算	
運動器機能向上加算	239円
口腔機能向上加算	106円
● 食費負担	650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	4名
	看護職員	6名
	介護職員	15名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	2名

### 《目標に対する取組状況》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決め、ご利用者に合った計画を立て、サービス提供を行ないました。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

#### ● お客様お一人お一人への個別対応の取組み

- ・ 自立支援を念頭に置き、お客様1人1人に沿った援助を行います。
- ・ 運動器機能向上計画書を基に、機能訓練指導員が運動器機能向上のための訓練を実施いたします。
- ・ 食事前に行う嚥下体操、食後に行う看護師による歯みがき指導等口腔ケアに力を入れ、口腔内の健康に努めています。

#### ● 入浴

- ・ ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分に入浴を楽しんでいただけます。

●お食事

- ・栄養士と厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、食事・おやつ共に手作りで、ご提供しております。また、昼食時にコック服に身を包んだ厨房スタッフが、当日のメニューの栄養効果のご説明を行います。

●スタッフ教育

- ・『報告・連絡・相談』を常に意識し、業務にあたります。
- ・スタッフ1人1人が指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、技術向上のための研修等を実施いたします。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるよう、努めます。
- ・地域の方（民生委員など）に、デイサービスを知っていただけるよう、地域に赴きPR等に取り組みます。

≪利用者実績（延べ人数）≫

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	4	10	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	28	36	39	48	73

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤	介護支援専門員	2名
非常勤（4月～6月）	介護支援専門員	1名

《目標に対する取組状況》

(1)在宅生活の支援への対応

ケアプランの作成にあたっては、ご利用者のみなさまの心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目指し、社会資源を活用したケアプラン作成に努めました。

(2)公正中立な立場により多様で総合的なサービス調整への対応

行政機関や地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立ちケアプラン作成し、サービス事業所等との連絡調整をサービス担当者会議等で行いながら、ご利用者・ご家族に納得いただけるケアプラン作成に努めました。

- 要介護認定等との申請に係る相談、助言及び申請ができない場合は代行、ケアプラン作成、サービス事業所等及び関係行政機関等との連絡調整、ケアプランの実施状況の把握、介護保険施設の紹介その他の便宜の提供を行うため、ご利用者宅の訪問やサービス担当者会議等を行いました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨、文書に署名（記名）、押印をいただきます。その上で以下の方法で実費をいただきます。

①公共交通機関を利用した場合

公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

②自動車を利用した場合

ケアプラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円をいただきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを大いに活用し、地域包括支援センター、西区、地域の支援者等との連携を十分に行いながら、ケアマネジメントに取り組んでいます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
70	68	69	68	68	67
10月	11月	12月	1月	2月	3月
66	65	67	64	68	61

●その他

セ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域福祉の拠点であることを自覚し、ケアプラザの複数ある機能を活用し、地域資源等の地域情報を把握し、地域特性を生かした支援ができるよう努めてまいります。

今年度は、地域包括支援センター機能が追加されたことで、これまで以上にケアプラザ内の各担当者との横のつながりを強化し、チームアプローチ視点から、一人の地域住民に対して包括的に関わっていかれるよう、担当者一人ひとりが意識し、情報の共有に努めました。

情報共有・チームアプローチへの取組みとしては、所内会議・各事業別会議により、対応方針の統一や専門性を生かせる対応を検討し取組みました。

ソ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

- ・ 毎週定例の所内会議などの活用や各部門合同の打ち合わせを随時実施しました。
- ・ 相談事業における情報共有について、介護保険事業の担当者と地域包括支援センターの担当者がタイムリーに状況を情報交換することを心がけ、方針や役割分担を確認し、対応をしました。特に、ケアマネジャーとは、主任ケアマネジャーがサービス担当者会議へ参加することで、情報共有に努めました。
- ・ 地域包括支援センターと地域交流部門においては、自主事業の開催に際して、連携に努め、特に高齢者対象の事業については、介護予防を意識しながら取組みました。

<以上>

# 平成18年度自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
転倒骨折予防教室 (OB会)	目的：介護予防 内容：体操を継続して行っていかれるように場所の確保と講師料を負担しました。一番古い教室については、自主化に向けて、区とも調整をしながら、働きかけを行いました。	前年度からの継続 ・とべとべの会 (月2回) 第1・3金曜 23回実施 ・生き生き元気会 (月2回) 第2・4金曜 24回実施 ・かろやか会 (月2回) 第1・3月曜 23回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ばしらサロン	目的：介護予防 ボランティアの育成 内容：毎回参加者のニーズに答える形でテーマを決めて物づくりや勉強会などを実施し、必ず、お茶の時間を設けおやつを食べながら情報交換や仲間同士で和気藹々と出来る機会を提供しました。	前年度からの継続 (月2回) 第2・4水曜 24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者の集い	目的：西区内の介護者の情報交換や親睦の場の提供 内容：家族介護者による話し合い・分かち合い	前年度からの継続 年6回 -6/13(火)・ 7/13(木)・9/8(金)・ 10/21(土)・1/10(水) 3/12(月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃ クッキング	目的：一人暮らしの男性高齢者の食事づくり支援 内容：調理実習と会食会	前年度からの継続 (月1回) 第2火曜日 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっと幸せ会	目的：一人暮らし高齢者対象見守り活動と配食サービス 内容：自主化に向けた運営支援	前年度からの継続 (月1回) 第1水曜 12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みなとみらい 体操教室 (新規)	目的：介護予防 内容：ミニ講習と体操指導	平成18年9月から開始 (月2回) 第1・3水曜 13回実施

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症 ミニデイサービス (新規)	目的：若年性認知症の方の外出先の確保と家族介護負担の軽減 ボランティア育成 内容：レクリエーション活動、機能訓練、食事サービス	平成18年12月から開始 (月1回) 第3水曜 4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年期認知症理解のためのボランティア講座	目的：若年期認知症の理解のための介護講座 内容：当事者・家族の方を講師とした介護体験講義, グループホーム見学等	10月・11月 4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	目的：ケアプラザまで来ることができない方への相談 内容：御所山アパートへの出張相談	年4回 第4火曜



## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援 ボランティアの育成 内容：プレイルームの開放と企画物（レクレーションなど）	前年度からの継続 (月2回) 第2・4木曜 22回実施

お父さんと遊ぼう	目的：子育て支援 内容：お父さん向け講座（レクレーションなど）	前年度からの継続 年1回 11/18(土)
----------	------------------------------------	--------------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児救命救急講座	目的：子育て支援 内容：家庭内の事故や応急手当法などの講座	前年度からの継続 年1回 7/23(日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアへの感謝会・交流会 内容：情報交換や課題等をグループ別に検討します	前年度からの継続 年1回 3/10(土)

ケアプラザまつり (運営協議会主催)	目的：プラザの開放・地域との交流 内容：地域の方・貸室団体・ボランティアによる催し 子供向けゲーム	年1回 11/26(日)
-----------------------	---	--------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニティーキッチン5 夏休み企画	目的：異世代交流 食育 内容：調理実習・高齢者と子供家族とのふれあいゲーム	年2回 8/24(木), 11/30(木)

# 平成18年度 自主事業収支報告書

事業名	①対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
転倒骨折予防教室(OB会) とべとべの会	①一般高齢者	125,328	53,328	72,000	53,328	0	72,000
	②30人						
	③一回100円						
転倒骨折予防教室(OB会) 生き生き元気会	①一般高齢者	125,328	53,328	72,000	53,328	0	72,000
	②30人						
	③一回100円						
転倒骨折予防教室(OB会) かるやか会	①一般高齢者	125,328	53,328	72,000	53,328	0	72,000
	②30人						
	③一回100円						
茶ばしらサロン	①一般高齢者	148,000	60,000	48,000	24,000	36,000	48,000
	②20人						
	③1回100円プラス実費						
家族介護者の集い	①介護経験者など	6,000	6,000	0	0	0	6,000
	②特になし						
	③なし						
若年性認知症 ミニデイサービス	①若年性認知症の方	20,000	12,000	8,000	0	2,000	6,000
	②5人程度						
	③1回400円						
しなくちゃクッキング	①独り暮らし男性高齢者	42,000	24,000	18,000	0	42,000	0
	②5名程度						
	③1回300円						
みなとみらい体操教室	①MMタワーズ入居者	60,000	0	60,000	36,000	0	24,000
	②10人程度						
	③一回500円						
みんなで遊ぼう	①未就学児家族	41,000	41,000	0	41,000	0	0
	②30～50人程度						
	③なし						
お父さんと遊ぼう	①未就学児とその父親	9,000	9,000	0	9,000	0	0
	②20～30人程度						
	③なし						
ほっと幸せ会	①独り暮らしの高齢者	192,000	0	192,000	0	142,000	50,000
	②50人程度						
	③一食400円						

事業ごとに別紙に記載してください。

事業名	①対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
幼児救命救急講座	①未就学児とその家族 ②20から30人 ③なし	8,444	8,444	0	8,444	0	0
ボランティア交流会	①プラザのボランティア ②20から30人程度 ③なし	6,000	6,000	0	0	0	6,000
障害者啓発講座	①地域住民・関係団体 ②30から50人程度 ③なし	5,000	5,000	0	5,000	0	0
ボランティア講座	①若年性認知症のミニ デいのボランティア志 ②10名程度 ③なし	10,000	10,000	0	10,000	0	0
コミュニティキッチン5 夏休み企画	①地域住民 ②50人まで ③一人100円	15,000	10,000	5,000	0	15,000	0
ケアプラザ祭り	①地域住民 ②なし ③模擬店は 実費負担あり	50,000	50,000	0	11,000	30,000	9,000

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成18年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：横浜市戸部本町地域ケアプラザ

(自)平成18年4月1日  
(至)平成19年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	23,363	23,002	/	/	/	/
	介護保険収入	/	/	2,387	9,550	75,722	3,155
	その他						
	認定調査	0	0	0	728	0	0
	居介支受託分	0	0	0	201	0	0
	追加配布	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>23,363</b>	<b>23,002</b>	<b>2,387</b>	<b>10,479</b>	<b>75,722</b>	<b>3,155</b>
支出	人件費	8,117	21,299	178	10,332	39,087	1,629
	事務費	4,572	1,283	345	1,426	13,308	555
	事業費	1,081	0	/	/	/	/
	管理費	6,273	0	0	0	1,814	76
	その他						
	福祉用具委託	2,457	0	0	0	0	0
	他居介支委託分	0	0	951	0	0	0
	利用者軽減	0	0	0	0	27	1
	消費税	406	0	0	0	0	0
	追加配布	0	0	0	0	0	0
	システム購入費	0	495	0	0	0	0
戻入額	457	7	0	0	0	0	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>23,363</b>	<b>23,084</b>	<b>1,474</b>	<b>11,758</b>	<b>54,236</b>	<b>2,261</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>-82</b>	<b>913</b>	<b>-1,279</b>	<b>21,486</b>	<b>894</b>

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。)

(単位:千円)